

意見対応整理表

| 項目 | 意見要旨 | 対応方針 | 修正案 |
|--|--|--|---|
| <p>全般</p> <p>※キーワード 「地区特性」 「広島らしさ」 「広島の魅力」</p> | <p>《地区特性》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区特性，地区の多様化について考慮が必要。 ・都心部，地方の中核部，郊外部という整理方法では，区分が大きすぎて広島の特徴が消えている。 ・各地域の特色が生かせるような将来像の描き方がよい。 ・広島県としての特色ある個性的な都市計画を示してもらえれば，市町の関係者もポジティブに取り組を進められる。 | <ul style="list-style-type: none"> ●将来像の『コンパクト+ネットワーク型の都市』に，「行政区域にとらわれない，地区の特性」のキーワードを追加する。 ●将来像の『活力を生み出す』に，「広島らしさ」のキーワードを追加する。 | <ul style="list-style-type: none"> ●将来像の『コンパクト+ネットワーク型の都市』 「行政区域にとらわれず，都市部や中山間地域の都市構造などそれぞれの地区の特性や地域資源を踏まえた，独自性のあるまちづくりの推進」を追加 ●将来像の『活力を生み出す』 「広島県が誇るものづくり産業を生かしつつ，クリエイティブな人材や産業のさらなる集積により，創造性が高く先進的なものづくりや新たな価値を生み出す独創的なビジネスモデルなどが創出されるイノベーションを通じて，経済成長を促進する魅力ある雇用・労働環境の創出」を追加 |
| | <p>《広島らしさ，広島の魅力》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンパクトシティを考える中で，広島らしさ，広島魅力を打ち出すことが非常に重要。 ・将来像は，ネガティブな現状からだけでなく，ポジティブな現状からも導き出せばよい。 | <ul style="list-style-type: none"> ●広島らしさや広島魅力を打ち出すため，都市だけでなく，県全体としてビジョンに掲げる基本理念を踏まえ，目指す姿の実現に向けて取り組んでいるところである。 ●将来像の『魅力あふれる』に，「広島らしさ」のキーワードを追加する。 ●県の都市の強みについて整理し，県全域の都市における課題・潮流に追加する。 | <ul style="list-style-type: none"> ●広島県の基本理念 目指す姿，3つの視点を追加 ●将来像の『活力を生み出す』 「全ての人生きがいや達成感を持って仕事に取り組みながら，健康的に暮らしを楽しむことができる生活環境の整備」を追加 ●将来像の『魅力あふれる』 「広島県の特長である，「自然と都市が融合した暮らし」，「平和」をキーワードとする世界的な知名度」，「内海と山々が織りなす食文化」など，地域の豊かな自然，歴史・文化等の資源を活用した多様な人々を呼び込む環境の整備・創出」に修正 ●県全域の都市における課題・潮流 「2つの世界文化遺産」など，本県の持つポジティブな現状を追加 |

| 項目 | 意見要旨 | 対応方針 | 修正案 |
|---|---|--|---|
| <p>コンパクト+ネットワーク型の都市</p> <p>※キーワード 「地区特性」 「コンパクトの否定」 「新技術」 「代替交通の充実」</p> | <p>《地区特性》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「コンパクトシティ」について、中山間地域でコンパクト化すると、周辺部の既存集落の生活基盤が脆弱化することから、キーワードとしての取扱いは慎重にする必要がある。 ・市街化区域の人口減少により、人口密度が低下している都市など、地区の多様性をどのように捉え、どのように対応していくのか。 | <ul style="list-style-type: none"> ●将来像の『コンパクト+ネットワーク型の都市』で、中山間のコンパクトシティは切り捨てイメージを生じないような表現に修正を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> ●将来像の『コンパクト+ネットワーク型の都市』「行政区域にとらわれず、都市部や中山間地域の都市構造などそれぞれの地区の特性や地域資源を踏まえた、独自性のあるまちづくりの推進」を追加 |
| | <p>《地区特性》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国的な東京への一極集中、広島県では広島市への一極集中という現状の中、一律の考え方ではなく、人口減少の周辺都市を合併した市町があるということを認識した都市計画とはどうあるべきかでないといけない。 ・各市町が独自の都市計画を利用して、それぞれのまちづくりが想像できるテーマを出すこと。 | <ul style="list-style-type: none"> ●県全域の都市における課題・潮流の『低密度に拡散した市街地など』に、市町村合併による影響を記載する。 ●将来像の『コンパクト+ネットワーク型の都市』に、「行政区域にとらわれない」、「独自性のあるまちづくり」のキーワードを追加する。 | <ul style="list-style-type: none"> ●県全域の都市における課題・潮流の『低密度に拡散した市街地など』 「市町村合併が進んだことにより、住民サービスの維持・向上や広域的なまちづくりに一定の成果が得られた一方、中心となる地域は整備されるが、周辺部は取り残されることなどが懸念されている」を追加 ●将来像の『コンパクト+ネットワーク型の都市』 「行政区域にとらわれず、都市部や中山間地域の都市構造などそれぞれの地区の特性や地域資源を踏まえた、独自性のあるまちづくりの推進」に修正 |
| | <p>《コンパクトの否定》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口減少が進展する中、あえてコンパクトを否定してみて、広げるといった発想があってもよい。 | <ul style="list-style-type: none"> ●将来像の『活力を生み出す』に、「クリエイティブな人材や産業のさらなる集積」「イノベーション」などのキーワードを追加する。 | <ul style="list-style-type: none"> ●将来像の『活力を生み出す』 「広島県が誇るものづくり産業を生かしつつ、クリエイティブな人材や産業のさらなる集積により、創造性が高く先進的なものづくりや新たな価値を生み出す独創的なビジネスモデルなどが創出されるイノベーションを通じて、経済成長を促進する魅力ある雇用・労働環境の創出」に修正 |
| | <p>《新技術》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンパクト+ネットワークのまちづくりを進める中で、通信や自動運転等の新技術のまちづくりへの反映のあり方など、県が指導力を発揮すること。 | <ul style="list-style-type: none"> ●県全域の都市における課題・潮流の『低密度に拡散した市街地など』に、新技術に関する記述を追加する。 ●将来像の『コンパクト+ネットワーク型の都市』に、新技術に関する記述を追加する。 | <ul style="list-style-type: none"> ●県全域の都市における課題・潮流の『低密度に拡散した市街地など』 「近年の情報通信技術の発展により、人やモノがインターネットでつながるなど、暮らしが大きく変革しつつあり、こうした技術革新を暮らしの質の向上に役立てるための環境の整備が求められている」 ●将来像の『コンパクト+ネットワーク型の都市』 「現状の車社会を踏まえた公共交通や超小型モビリティなどの新技術の導入・転換による交通ネットワークの充実と、情報通信技術などの技術革新の進展を踏まえた情報ネットワークの充実による人・モノ・情報の高密度な交流の実現」に修正 |
| | <p>《代替交通の充実》<u>都計審意見</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市機能の拠点間ネットワークの形成はもちろん、代替交通などのバックアップ体制の充実も必要。 | <ul style="list-style-type: none"> ●将来像の『コンパクト+ネットワーク型の都市』に、「重層的な」というキーワードを追加する。 | <ul style="list-style-type: none"> ●将来像の『コンパクト+ネットワーク型の都市』 「重層的な拠点間ネットワークの形成による、周辺地域同士の都市機能の適切な分担」に修正 |

| 項目 | 意見要旨 | 対応方針 | 修正案 |
|---|--|--|--|
| 活力を生み出す ※キーワード 「縣市連携」 「広域連携」 「多様な魅力」 | ＜縣市連携＞ ・広域拠点における高次都市機能の集積強化が必要であり、そのためには、県と市の連携の視点が必要。 | ●広島県や備後圏域を牽引する広島市や福山市との連携については、これまで、「ひろしま都心活性化プラン」や「福山駅前再生ビジョン」の作成等に連携して取り組んでいるところであり、引き続き取り組んでいく。 | ※第1回部会資料の修正なし |
| | ＜広域連携＞ ・連携中枢都市圏は広島県のエンジンであり、それが「広島県全体の発展」を牽引し、さらに「中四国の発展」につながるという段階的な展開の記述が良いのではないかと。 例えば、瀬戸内の魅力を発信していく際には、隣県と連携するなど、広域的な視点を持たなければいけない。 | ●指摘のとおり修正する。 ●中四国の近隣県や他県等と広域連携事業に取り組んでいる所であり、引き続き取り組んでいく。(定住フェア、瀬戸内しまなみ海道など) | ●将来像の『活力を生み出す』 「広域連携中枢都市圏の中核都市を中心とした高次都市機能の集積・強化により、広島県全体の発展を牽引し、さらに中四国地方の発展に寄与」に修正 ※第1回部会資料の修正なし |
| | 事務局案 | ●中核都市だけでなく他都市においても都市機能の集約などによるにぎわい創出が必要であることから、将来像の『活力を生み出す』に都市機能の集約などによるにぎわい創出を追加する。 | ●将来像の『活力を生み出す』 「市街地中心部への都市機能の集約や新たな都市機能の呼び込みによるにぎわいの創出」に修正 |
| 魅力あふれる ※キーワード 「多様な魅力」 | ＜多様な魅力＞ 都計審意見 ・多様な人材を惹きつけるためには、質の高い魅力的な空間の形成だけでなく、多様な魅力が必要。 | ●県全域の都市における課題・潮流の『交流人口の増加』で、多様な魅力を生かしたまちづくりに修正する。 | ●県全域の都市における課題・潮流の『交流人口の増加』 「多様な人材をひきつける、質の高い魅力的な空間の形成(建物の高さがそろっているなどの洗練された都市景観、セットバックによる公共空間の活用等)や、多様な魅力を生かしたまちづくりが求められている。」に修正 |

| 項目 | 意見要旨 | 対応方針 | 修正案 |
|--|--|--|---|
| <p>安全・安心に暮らせる</p> <p>※キーワード「安全・安心」</p> | <p>《安全・安心》</p> <p>・広島の特徴である土砂災害に対する脆弱性を克服し、安全・安心に暮らせることを主軸にしたまちづくりを行う、という方向性がよい。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ●安全・安心を主軸にした都市を目指す。 ●コンパクトな都市を、効率的な日常生活サービスの提供の面だけでなく、安全・安心の観点からも推進していく必要があることから、課題・潮流の『低密度に拡散した市街地など』に、「災害に対して脆弱な都市構造」を追加し、『災害・地球環境問題』から「脆弱な都市構造」の記述を削除する。 ●コンパクトな都市を、効率的な日常生活サービスの提供の面だけでなく、安全・安心の観点からも推進していく必要があることから、将来像の『コンパクト+ネットワーク』に安全・安心の観点を追加する。 ●今回の豪雨災害の資料を追加する。 ●将来像の『安全・安心に暮らせる』に、「総合的な防災減災対策による安全・安心に暮らせる環境の整備」を明示。 | <ul style="list-style-type: none"> ●イメージ図を修正 ●県全域の都市における課題・潮流の『低密度に拡散した市街地など』 「土砂災害警戒区域内など災害リスクの高い地域に市街地が存在するなど災害に対して脆弱な都市構造となっている。」を追加 ●県全域の都市における課題・潮流の『災害・地球環境問題』 「自主防災組織の組織率の向上など防災に対する意識は高まっているが、平成30年7月豪雨において県下の広範囲に甚大な被害が発生するなど、がけ崩れや、溪流からの多量の土砂流出による土砂災害などによる被害が多発している。」に修正 ●将来像の『コンパクト+ネットワーク』 「日常生活サービスを効率的に提供するため、日常生活機能の集約などによる市街地の適切な密度の確保とともに、安全・安心に暮らせる環境を確保するため、災害リスクの低い土地への居住誘導」に修正 ●参考資料を追加 ●将来像の『安全・安心に暮らせる』 「県民の生命、身体及び財産を保護するため、自主防災組織、行政等が連携し、ハード・ソフト対策が一体となった総合的な防災・減災対策による安全・安心に暮らせる環境の整備」を追加 |

| 項目 | 意見要旨 | 対応方針 | 修正案 |
|---|---|---|---|
| <p>安全・安心に暮らせる</p> <p>※キーワード 「安全・安心」 「復興」 「平和」 「健康」 「子育て, 教育環境の充実」</p> | <p>《安全・安心, 復興, 平和》</p> <p>・防災の取組を基盤として, まちづくりができれば, 「安全・安心, 復興, 平和」といったキーワードから地域づくりや地域の活性化などにつながる。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ●安全・安心を主軸にした都市を目指す。 ●「安全・安心, 復興, 平和」といった特性を, まちづくりに生かす旨を記載する。 | <ul style="list-style-type: none"> ●イメージ図を修正 ●将来像の『安全・安心に暮らせる』 「県民の生命, 身体及び財産を保護するため, 自主防災組織, 行政等が連携し, ハード・ソフト対策が一体となった総合的な防災・減災対策による安全・安心に暮らせる環境の整備」に修正 ●将来像の『魅力あふれる』 「広島県の特長である, 「自然と都市が融合した暮らし」, 「平和」をキーワードとする世界的な知名度」, 「内海と山々が織りなす食文化」など, 地域の豊かな自然, 歴史・文化等の資源を活用した多様な人々を呼び込む環境の整備・創出」に修正 |
| | <p>《健康》</p> <p>・前向きなキーワードとして「健康」を入れられないか。</p> <p>・健康に係ることとして, 「人生100年の時代を見据えた準備が早い県」がキーワードになる。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ●各部局の計画を検証し, まちづくりにどう反映させることができるかを整理し, 取組に反映させる。 ●将来像の『安全・安心に暮らせる』に, 「健康」「高齢者にも生活しやすい都市基盤」のキーワードを追加する | <ul style="list-style-type: none"> ●目指す姿, 3つの視点を追加 (具体的な運用方策で反映させる) ●将来像の『安全・安心に暮らせる』 「子育て世代が生活しやすい, 子育て, 教育環境の整備や, 高齢者にも生活しやすい都市基盤整備がされるなど, 日常生活機能が維持された, 誰もが健康で安心して暮らせる居住環境の形成」に修正 |
| | <p>《子育て, 教育環境の充実》</p> <p>・人口減少下では, 少なくなったパイを奪い合うという視点だけではなく, 子育て, 教育環境が充実すれば, 人が住み続け, 生活基盤も維持されるということも考えられることから, そこに住んでいる人がいなくなる, あるいは少しずつゆっくり増えていくといった視点での人口確保も重要。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ●人口減少社会の中, 人口増加を目指すことは難しいと考えられるが, 人口減少下にあっても, 住み慣れた地域に住み続けてもらうため, 適切な都市計画制度の運用方針を検討していきたい。 ●将来像の『安全・安心に暮らせる』に, 「子育て環境」のキーワードを追加する。 | <p>※第1回部会資料の修正なし</p> <ul style="list-style-type: none"> ●将来像の『安全・安心に暮らせる』 「子育て世代が生活しやすい, 子育て, 教育環境の整備や, 高齢者にも生活しやすい都市基盤整備がされるなど, 日常生活機能が維持された誰もが健康で安心して暮らせる居住環境の形成」に修正 |

| 項目 | 意見要旨 | 対応方針 | 修正案 |
|--|---|--|---|
| <p>住民主体のまちづくりが進む</p> <p>※キーワード 「エリアマネジメント」 「担い手の育成」 「人と人のつながり」 「行政との連携」 「自発的な住民参加」</p> | <p>《エリアマネジメント、担い手の育成》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エリアマネジメントは軌道に乗せるまでが大変であり、そのサポートの必要性を課題として掲げること。 ・地域の魅力づくり、コミュニティ存続のためには、地域における担い手の育成が重要。 ・住民主体のまちづくりについて、様々な観点から検討していただきたい。 | <ul style="list-style-type: none"> ●将来像を実現するための課題として、エリアマネジメントのサポートの必要性を記述。 ●具体の制度運用方策において、組織の立ち上げの財源、ノウハウ等の提供といった内容を追加。 | <p>※第1回部会資料の修正なし (具体的な運用方策で反映させる)</p> <p>※第1回部会資料の修正なし (具体的な運用方策で反映させる)</p> |
| <p>「持続的なまちづくり」</p> | <p>《人と人のつながり》<u>都計審意見</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回の豪雨災害を受けて、学生からの意見として、「ラインなどのネットワークを通じて、知らない人同士でもすぐにつながることができ、困っている人を助けることができた。こういう機会を通じて人と人のつながりを実感することができた。」という意見があった。 ・人間同士のネットワークが重要であり、それを育成できるような都市づくりが重要。 | <ul style="list-style-type: none"> ●将来像の『住民主体のまちづくりが進む』に、「人と人のつながり」のキーワードを追加する。 | <ul style="list-style-type: none"> ●将来像の『住民主体のまちづくりが進む』 「人と人のつながりを基軸とした住民主体のまちづくりが持続的に行われる体制や基盤の整備など行政との連携によるまちづくりの推進」に修正 |
| | <p>《行政との連携》<u>市町意見</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民主体のまちづくりが進む(イメージ図含む) 「住民主体のまちづくりが進む」について、人材育成や環境の整備等行政の担う役割を記載していることから「官民連携まちづくりが進む」としてはいかがでしょうか。 | <ul style="list-style-type: none"> ●将来像の『住民主体のまちづくりが進む』に、「行政との連携」のキーワードを追加する。 | <ul style="list-style-type: none"> ●将来像の『住民主体のまちづくりが進む』 「人と人のつながりを基軸とした住民主体のまちづくりが持続的に行われる体制や基盤の整備など行政との連携によるまちづくりの推進」に修正 |
| | <p>《自発的な住民参加》<u>事務局意見</u></p> | <ul style="list-style-type: none"> ●将来像の『住民主体のまちづくりが進む』に、「自発的な住民参加」のキーワードを追加する。 | <ul style="list-style-type: none"> ●将来像の『住民主体のまちづくりが進む』 「住民の多様なニーズに対応するため、まちづくりの担い手として住民が自発的にまちづくりに参加することを促進し、主体的にまちづくりを行う人材の育成と活躍できる環境の整備」に修正 |
| | <p>《持続的なまちづくり》<u>事務局意見</u></p> | <ul style="list-style-type: none"> ●将来像の『住民主体のまちづくりが進む』に、「持続的なまちづくり」のキーワードを追加する。 | <ul style="list-style-type: none"> ●将来像の『住民主体のまちづくりが進む』 「人と人のつながりを基軸とした住民主体のまちづくりが持続的に行われる体制や基盤の整備など行政との連携によるまちづくりの推進」に修正 |